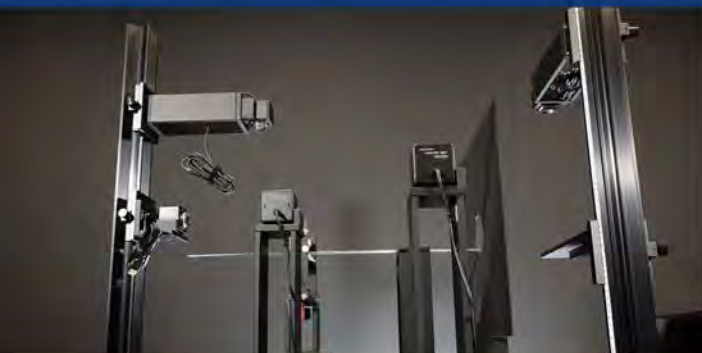


その紫外線製品 本当に安全ですか？

紫外線は人体に悪い影響を与えることが、世間一般の常識になっています。このため、紫外線機器では「紫外線の安全性」の確保がとても重要です。

製品の価値や安全性を確保することで、貴社の製品の価値を高めることができます。



弊社では最先端の各種光学測定機器を海外より輸入販売しており、ISO/IEC17025:2005 認定試験校正機関として光学測定機器の保守・校正業や受託測定のプロセスを提供しております。光に関することはお気軽にお問い合わせください。

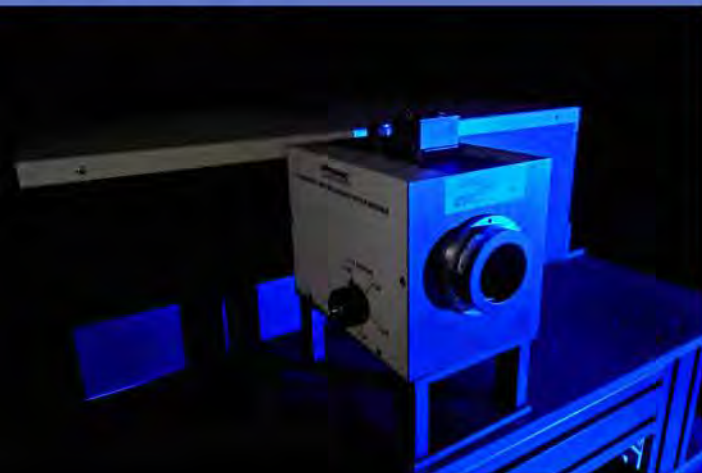
OL 750D ダブルモノクロメーター分光放射計システムではモジュラー構成を採用、様々な光学アクセサリとソフトウェアにより紫外、可視、赤外域の幅広い波長域の分光放射測定により多種多様な計測ニーズをラボグレードの精度で実現した画期的なシステムです。

200 ~ 30000 nmの幅広い測定波長域を持ち、IEC 62471 光生物学的安全性要求に規定されている試験項目を行う為の機能を全て備えており、LED放射や光源のリスクグループを決定します。弊社では当システムのカスタマイズ・校正・販売をしております。



JIS C 7550 及びIEC 62471 ランプ及びランプシステムの 光生物学的安全性評価、リスク証明書の発行サービス

ISO17025認定試験・校正サービス機関である光学試験校正室では、コロナ渦の影響で需要が増加している殺菌器具の計測サービスを提供いたします。殺菌で使用する紫外波長域(UV-A, UV-B, UV-C)はもとより、可視・赤外域を含む波長範囲 200 - 3000 nmの分光放射照度を絶対値測定により殺菌器具、装置から出力される紫外放射を確認する事が可能です。光生物学的安全性評価の結果からリスク証明書を発行いたします。



<光生物学的安全性の評価測定サービス>

近年、LED光源などの普及とともに光の安全性への関心が高まっています。光放射による目や皮膚（人体）への影響を評価する方法として、JIS C 7550（国際規格では、IEC 62471）が規格化されております。

光学試験校正室ではJIS C 7550に基づいた安全性の評価測定サービス（リスク分類評価）を行なっております。

JIS C 7550の測定評価項目

リスク	記号	測定項目	波長範囲
目及び皮膚に対する紫外放射傷害	E_S	分光放射照度又は露光許容時間	200nm-400nm
目に対する近紫外放射傷害	E_{VUA}	分光放射照度又は露光許容時間	315nm-400nm
青色光による網膜傷害	L_B	分光放射輝度又は露光許容時間	300nm-700nm
小形光源の青色光による網膜傷害	E_B	分光放射照度又は露光許容時間	300nm-700nm
網膜の熱傷害	L_R	分光放射輝度又は露光許容時間	380nm-1400nm
網膜の低可視光熱傷害	L_{IR}	分光放射輝度又は露光許容時間	780nm-1400nm
目の赤外放射傷害	E_{IR}	分光放射照度又は露光許容時間	780nm-2500nm

区分	内容	
免除グループ	-	何ら光り生物学的に障害を起こさないもの。
リスクグループ1	低危険度1	通常の行動への制約が必要になるような障害を引き起こさないもの。
リスクグループ2	中危険度2	嫌悪感及び熱的な不快感を伴う障害を引き起こさないもの。
リスクグループ3	高危険度3	一時的又は短時間の露光によっても障害を引き起こすもの。

詳しくはお問い合わせください。



旭光通商株式会社

光学試験校正室

105-0014 東京都港区芝1丁目14番4号 芝舂田ビルB1F

TEL 03-6371-6908 FAX 03-6371-6944

<http://www.kyokko.com/service/>